

「婦人の10年」の中間年について

- 国連は 国際婦人年の目標を一層徹底させるため 1976～1985年を「国連婦人の10年」と宣言しました

世界の国々が連帯して「平等・発展・平和」

を目標に 活動を続けています

- その中間年である今年 1980年世界会議が 7月14日から30日まで デンマークのコペンハーゲンで開催されます

「婦人の10年」の目標

平等……政策決定への参加など
男女平等の促進

発展……婦人の能力開発と
経済 社会 文化の発展への
婦人の参加

平和……国際友好と協力への
婦人の貢献

第32回



婦人週間

昭和21年4月10日に 日本の婦人は はじめて
国会議員を選挙し 男性と同じく政治に参加す
ることになりました

この日を記念して 労働省では 昭和24年以来
毎年4月10日から1週間を “婦人週間” と
して 婦人の地位を高めるための運動を主唱し
本年は 第32回を迎えます

本年は 国際婦人年につづく「婦人の10年」の
中間年にあたり 国内行動計画に基づいて一層
啓発活動を推進するため “男女の平等と婦人の
社会参加をすすめる—「婦人の10年」の中間年に
あたって—” をテーマとし “これまでの活動を
ふまえ さらに発展させる” を運動の重点とし
て 全国的に展開します

○ご相談ごとは 下記婦人少年室や婦人少年室
協助力員へ

男女の平等と

婦人の社会参加をすすめる

—「婦人の10年」の中間年にあたって—



第32回婦人週間
4月10日～16日

労働省婦人少年局

■ いま 婦人の生活は・・・

今年は

「婦人の10年」の中間年です

男女の平等と婦人の社会参加をめざし
活発な活動が展開されます

社会では

10年間の展望に立ち「国内行動計画」が
つくられました

国・地方自治体は
婦人に関する施策を総合的にすすめています

民間の団体・グループ・個人が
さまざまな問題に取り組んでいます

婦人がかかえている問題への
社会の理解が深まっています

婦人自身は

子どもの数が少なくなり

寿命が伸びて

子育て後の生活が長くなりました

教育水準が高まって

学習の機会がふえ

いろいろな能力を身につけています

職業をもち また 市民として

社会に参加する意欲が高まっています



男女の平等をすすめ婦人があらゆる分野にもっと参加するために
これまでの活動をふまえ さらに発展させよう



■ 私たちの日常の中にある

男女差別に基づく社会通念や慣行は

婦人の活動分野をひろげられない一因に
なっています

「女は家庭 男は仕事」など固定的な考え方
女の子と男の子のしつけや教育のちがい
などがみられます

家庭で 職場で 地域社会で……

■ 婦人自身が積極的に努力しましょう

婦人がその生涯を 自分の考えで 設計し
社会をささえる 力となるために

いま
気がついた人が
気がついたことから

はじめましょう

■ 活動を発展させるために

これまでの活動を見直しましょう

どんな取り組みが 効果的でしたか
なにが 障害でしたか
どのように のりこえましたか

どう 発展させてゆくか

考え 話しあって

今後の活動に 生かしましょう